



田中青坪
『浅間高原（五）』昭和55年
絹本彩色・額装（112センチ×162センチ）
雪に覆われた浅間山と澄み渡った青空、そして軽やかな白雲。刻々と変化する山の瞬間を捉えています。長野県側からの浅間山の姿を、洋画的な筆触と明るい色彩で描いています。画家77歳の作品です。田中青坪さん（本名〃文雄、明治36年

未来への贈りもの
本市収蔵作品

―平成6年―は、本市本町に生まれ、3歳の頃に一家で上京します。幼少から絵が好きで、小学校卒業後、太平洋画会で油彩を学びました。18歳で小茂田青樹に師事し、日本画に転向すると、21歳で日本美術院展覧会に初入選。その後入選を重ねて、昭和7年、29歳のときに当時最年少で、日本美術院の最高位となりました。雅号である「青坪」は、師である青樹から一字もらったといわれています。
日本美術院を中心に作品を発表するかわら、東京藝術大学教授や横山大観記念館理事長を歴任。また、県美術会の発足にも携わり、日本画壇の重鎮として活躍しました。
前期は人物画を描いていましたが、だいに風景画を主に描くようになり、70歳を過ぎてからは浅間山の連作に取り組みました。1年のほとんどもを軽井沢のアトリエで過ごしたといえます。写実を基礎に、考えつくされた構図や色彩で描かれていて、自然に対する真摯なまなざしを感じられます。

問い合わせは 文化国際課 ☎8000-5800

今季からベースボールチャレンジリーグ（BCリーグ）のチーム・群馬ダイヤモンドペガサスの監督に就任した。
「昨年、福岡ソフトバンクホークスを退団した際、群馬ダイヤモンドペガサスからお誘いをいただきました。地元の力になりたいと思い、引き受けました」
今季の目標は、やはりリーグ優勝。全ての試合に勝ちたいと意気込む。しかし、勝利のみにこだわるわけではなく、選手たちの成長をサポートしていきたいと話します。
「選手たちの長所・短所を見極め、それぞれの長所を伸ばし、短所を補っていくことを大切にしていきたいと思っています」
本市に帰ってきたのは高校卒業以来、25年ぶり。今は懐かしい同級生と親交を

深め合ったり、高校時代に練習していた利根川河川敷にある野球グラウンドに行ったり見学したりしているという。
「昔は野球一筋の生活でしたね。今の時季、前橋で思い出すのは、からっ風の中での練習。外野手同士が見えなくなるほど巻き上げられた砂ぼこりの中で、一生懸命練習していたことが懐かしいです」
群馬ダイヤモンドペガサスの今季の全試合数は72試合。開幕戦は4月21日(土)の信濃グランセローズ戦だ。
「ことしは20試合が市内で行われます。ぜひ、市民の皆さんにも足を運んでもらって、応援してほしいですね」
群馬ダイヤモンドペガサスの勇姿が見られるのもうすぐ。選手たちの素晴らしい活躍と、彼らを率いる五十嵐さんの力強い采配に期待したい。

地元や選手と一緒に優勝を目指す



群馬ダイヤモンドペガサス監督に就任
五十嵐 章人さん 43歳
西片貝町

クローズアップ



古い車を電気自動車に
改造電気自動車の実用化に向けた実証実験を、県自動車整備振興協会前橋支部と共同で、昨年11月から3カ月間行いました。ごみを戸別に収集する「こんにちは収集事業」で試験的に使用。今後も環境保護のため、さまざまな取り組みを重ねていきます。



平安の宮中に思いをはせる
前橋プラザ元気21で2月4日、朗読源氏物語を開催。ピアノの演奏を交えながら現代詩訳された源氏物語の朗読が行われ、参加者からは「みやびな世界が目に浮かぶ、すてきな朗読だった」という声。平安時代の恋物語に酔いしれたひとときになりました。



テニスコートがリニューアル
粕川総合グラウンドのテニスコートがリニューアル。砂入り人工芝のコートに生まれ変わりました。6面の広々としたコートで、テニスを楽しむことができます。利用時間は午前6時から午後10時まで。新しくなったコートで、ぜひ、ご利用ください。



貴重な文化財を火災から守る
1月29日、粕川町月田の近戸神社で文化財消防訓練を行いました。これは火災から文化財を守るために毎年行うもので、約100人の消防隊員や消防団員などが参加。万一のときに備え、消火活動や負傷者救助などの訓練にみんな真剣に取り組んでいました。